

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	健康・体力づくり活動事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	寺門 宏晋			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	健康の保持増進と体力の向上に努めたい市民	意図	体力や精神面等を充実することで、日常生活を豊かに過ごし、さらに運動やスポーツを楽しむ余力がある状態にする。
事業内容	通年又は年間各期で、いつでも誰でも参加できる健康ジョギング講習会、ウォータービクス講習会をコミュニティスポーツリーダーやスポーツ推進委員の協力で市内各地で開催するなど、年齢、体格、体力レベルに適した健康・体力づくりが出来る。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年度から継続的に運動することで、健康・体力づくりに取り組んでもらうため、女性を対象に講習会を開催した。その後、夜のフィットネス講習会、お父さんのための体力アップ講習会、高齢者のための健康・体力アップ講習会などを開催し、現在は自主的な活動として継続されている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	健康・体力づくり活動事業参加者数	12,936	12,345	12,843	人	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 健康ジョギング講習会は、一定の参加者数で推移している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,321,248	1,358,055	3,236,321				
事業費(b)(円)		222,848	284,135	2,181,601				
うち一般財源		222,848	284,135	2,181,601				
職員給与費(c)(円)		1,098,400	1,073,920	1,054,720				
人役・職員(人)		0.16	0.16	0.16				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	将来の活動継続を見据えて、若い指導者の確保に努める。	③取組における課題(Check)	コミュニティスポーツリーダー等の指導者が高齢化しており、若い指導者の確保が課題である。
②H30に実施した取組(Do)	「ウォータービクス講習会」については、流山市スポーツ推進委員協議会に業務委託を行い、参加者が増加するなど成果を上げた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	将来の活動継続を見据えて、新規コミュニティスポーツリーダーの公募を行う。